日刊 動労千葉

86. 7. 11

No.2292

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五～六・（公衆）〇四七二（22）七二〇七

国鉄「分割・民営化」阻止！三里塚二期着工粉砕！

全国上映 第9弾 広島上映会大成功

「俺たちは鉄路に生きる」上映会が中四国での第一弾として六月二九日、広島市みゆき会館において開催され、県内の労働組合、とりわけ国鉄職場の労働者や教組、全逓の労働者が多く参加、二五〇名の結集で上映会は大成功を収めた。

国鉄・教組・全逓の仲間が

上映会は正午より始まり、開会が宣言され、最初に動労千葉の水野副委員長があいさつにたち、「本日は仙台においても上映会がかちとられている。しかし、東京・日比谷公会堂において動労、鉄労、真(ニセ)国労など労使共同宣言四組合と国鉄当局によるマル生大会が開かれている。われわれ動労千葉は、上映・物販活動をとおして国鉄労働者の決起をよびかけ、自らの力で資金をつくりだし、分割・民営化阻止・中曽根打倒へたたかいぬく」との決意を表明した。

つづいて、連帯のあいさつの最初に、教育労働運動家・宅和純氏、そして、争議団組合として長い間たたかい続けている全造船・三菱広機分会の仲間から「この攻撃は国鉄労働者だけへのものではなく、私たちにかけられた攻撃でもある。連帯してたたかいぬく」。最後に、闘う国鉄労働者がたち、「必ず国労も起つ」との決意を明らかにした。

県内一〇〇カ所訪問

このあと上映に入り、二波のたたかいの記録に一時間五〇分の長さを少しも感じさせず終了と同時に拍手がわきおこった。大成功だ。この上映会にむけて、実行委の人達は動労千葉上映オルグ団の重見敏夫氏を先頭に、県内の労組・団体など約百ケ所を訪ね、協力要請を行ってきた。

同時に、動労千葉協販部の川崎昌浩氏は、関西から中国・四国を長期間にわたり物販拡大活動をやりぬいてきた。この奮闘が実ったのだ。川崎氏は上映会後、四国にとって帰っていった。ガンバレ！

（寄稿・広島上映委員会）

映画終了と同時に会場は拍手と歓声でつつまれた。

動労千葉ストライキの記録 俺たちは鉄路に生きる！

《第10弾以降》

全国上映運動 1986年7月〈上映スケジュール〉

7月9日(水)6:00PM	富山市・ボルファートとやま8階
7月11日(金)6:00PM	長崎市・勤労福祉会館
7月16日(水)6:00PM	東京・大泉勤労福祉会館
7月17日(木)6:00PM	渋谷勤労福祉会館
7月18日(金)6:00PM	柏市中央公民館
7月18日(金)6:00PM	津市・三重県勤労者福祉会館6階
7月19日(土)6:00PM	四日市市・あさけプラザホール
7月26日(土)2:00PM	木更津市・君津教育会館
7月26日(土)1:00PM	甲府市・山梨県労農福祉センター
7月27日(日)1:00PM	前橋市・群馬県教育会館大ホール
7月27日(日)1:00PM	新潟市
7月29日(火)6:00PM	浦和市文化センター
7月30日(水)5:30PM	秋田市・秋田県労働会館
8月10日(日)1:00PM	長岡市
8月31日(日)1:00PM	福島市・協働会館

※更に全国各地で計画中

もうがまんがならない！

今こそ総反撃に起つとき！

中曽根・杉浦・松崎ぶっとばし、実力ストで勝利へ

国鉄法案粉砕・十一月ダイ改阻止・「真(ニセ)国労」解体

7・20国鉄分割・民営化絶対反対 全国鉄労働者集会

■日時　7月20日(日)正午～午後5時

■会場　農協ホール（東京大手町・農協ビル8階 地下鉄大手町下車百メ）

■講演　「危機にたつ中曽根内閣と分割・民営化攻撃」　埼玉大学教授　鎌倉孝夫

「いまこそ総反撃へ　国鉄労働運動の課題と任務」　動労千葉執行委員長　中野　洋

■基調報告　吉野元久（国労北海）

■全国からの発言

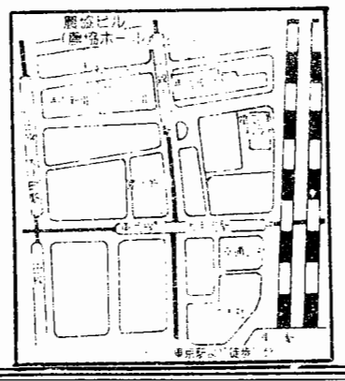
■主催　7・20集会実行委員会（よびかけ人）

吉野　元久（国労三鷹保線区分会副分会長）　富田　益行（国労新幹線大阪保線所分会執行委員）

飯島　幸雄（国労津田沼電車区分会執行委員）　小玉　忠憲（国労秋田電力区分会書記長）

太田　孝夫（国労田町電車区分会執行委員）　綾部　光男（動労千葉津田沼支部書記長）

長谷川政一（国労浜川崎駅分会）　永田　雅章（動労千葉千葉運転区支部長）



全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉砕せよ！